

平成29年度 ひたちなか市立平磯中学校 学校経営の構想

県教育目標

経営の柱
＜主体性の向上＞

市教育目標

目指す生徒像

- ・自ら学ぶ生徒の育成
「聴く」を重視して
- ・規律を守る生徒
あいさつ・返事・話を聴く
- ・目標に向かって行動する生徒
ふり返りを重視して

求める教師の姿

- ・生徒が主体的に学び、より高い知識・技能を習得する授業改善に努める教師
生徒に付きたい力の明確化とまとめとの整合性
本時のまとめをもとにした次時の課題の明記
- ・生徒理解のスキルを高める教師
QUアンケートを活用した真の生徒理解
特別支援教育の理解(障害・環境への理解)
- ・チームの一員として共に動く教師
同一歩調の徹底(抜けをつくらない)

平成29年度生徒会活動基本方針

「たしかな経験が大きな自信へ」

- 1 雰囲気 2 主体性 3 目標 4 経験

平成29年度校内研修

自己の良さを生かし、主体的に学ぶ生徒の姿をもとめて
＝より高い知識・技能の習得を目指す授業の在り方(小中連携)＝
＝QUアンケートによる生徒個々の理解を目指して＝

組織目標

話を聴く生徒100%

- 1年 「目標の実現に向け
話をよく聴き努力する」
- 話をよく聴く姿勢を身に付ける。
 - 目標をもち実現に向けて努力する。
 - 規律をもって生活する。

- 2年 「自分のよさを伸ばす」
- 授業に真剣に取り組む。
 - 一人でもあいさつや返事をしっかりする。
 - 目標をもち
それに向けて努力する。

- 3年 「夢の実現を果たす」
- 自分の意見を言うことができる。
 - 毎日「整理と対策」をし、学力向上につなげる。
 - 何事にも目標をもって取り組む。

主体的に学び学力を高める生徒の育成	安心安全な教育環境づくり	意欲をもって自分の考えで行動できる生徒の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学びの質を高める 計画訪問・要請訪問(4・6・12・1月) 生徒に身に付きたいより高い力を明確にしたねらいの設定とまとめの整合性 本時のまとめと次時の課題を明記するまとめの実施 ・読解力を高める 朝読書の実施(月～木)時刻を守る 「聴く」の重視「話し手に体を向ける」 ・基礎的な学びの定着 学習規律の徹底「はい～です」 家庭学習の手引きの活用とノートづくり バリエーションテストの実施 毎木曜放課後に実施(英・国・数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の視点を統一する QUアンケートから普通の子に視点をあてて 報連相確の重視と組織的対応 発達障害生徒の対応の統一(SCとの連携) 生徒指導ノートの活用 ・生徒のよさや伸びを捉える Good Jobカードの活用とその評価 学級経営簿の活用と通信簿への反映 ・生徒に信頼される教師になるために 有言実行の強い信念 ・清潔な教育環境づくりのために 無言清掃の実施(清掃カードの見直し) 清掃分担の見直し(抜けを作らない) 一日の終わりに教室を整理整頓する 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもって行動する生徒の育成 生徒会活動基本方針の意識化 部活動カードの活用 ・部活動と教育課程の連動の徹底 自らあいさつ 名前を呼ばれたら「はい」 大きな声で唱和(朝のあいさつ等) ・自己決定・自己責任の構築 「生活の記録」の有効活用と評価 ・生徒会の活性化 月1回の委員会開催の確保(第4月曜) 生徒集会の開催(年8回)

「チームとして動く教師集団」有言実行の徹底

- ・教員評価、学校評価の目標の連鎖
- ・研修の機会を生かした、ミドルリーダーの育成
- ・教員評価の面談の重視(相互理解の場とする)
- ・コンプライアンスブックを活用した服務規律の徹底

「信頼される学校づくりのために」

- ・福祉課・SSWとの連携による生徒支援(貧困家庭生徒の支援)
- ・スクールカウンセラーや特別支援学校との連携による配慮を要する生徒の理解
- ・小中連携の充実(9年間で育てる子どもの姿を明確にして)